

目的

令和5年11月～12月にかけて、区民を対象とした「がんに関する意識調査」を実施した。

この調査及び分析結果をもとに、次年度の「墨田区がん対策推進計画」の改定及び改定後のがん対策に効果的な施策の提案等を行う。

質問項目

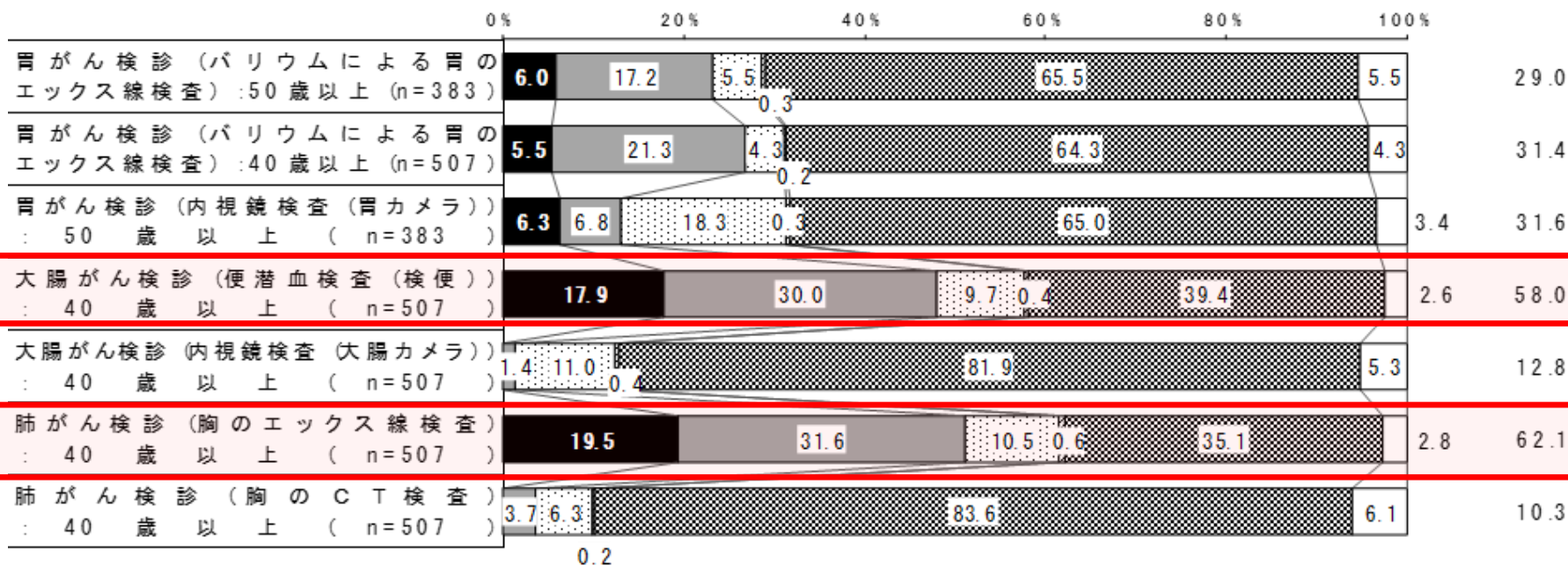
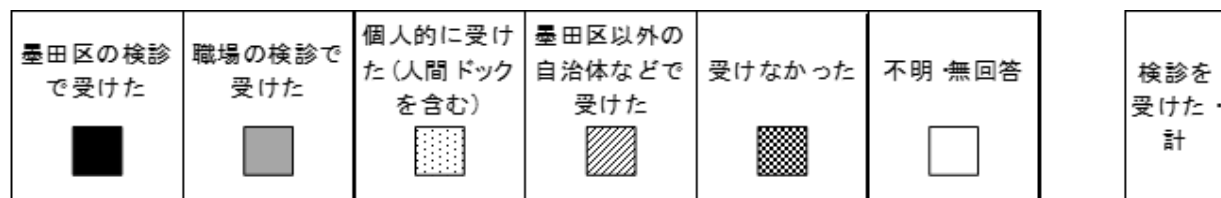
- ▼ご自身のことについて
- ▼がんの罹患について
- ▼がん検診について
- ▼がんについてと区のがん対策について
- ▼がん患者とその家族の生活について
- ▼区におけるがん予防や啓発、その他の取組に対するアイデアや意見

調査概要

- (1) 調査地域：墨田区全域
- (2) 調査対象：墨田区在住の20歳以上の男女（年齢は令和5年11月1日現在）
- (3) 標本数：2,000標本 有効回収数 704標本（有効回収率 35.2%）
- (4) 標本抽出：住民基本台帳からの層化二段無作為抽出
- (5) 調査方法：郵送配布－郵送・インターネット回収
※ 調査期間中に協力のお礼・依頼のはがきを1回送付
- (6) 調査時期：令和5年11月27日（月）～12月22日（金）

がん検診受診率（意識調査）①

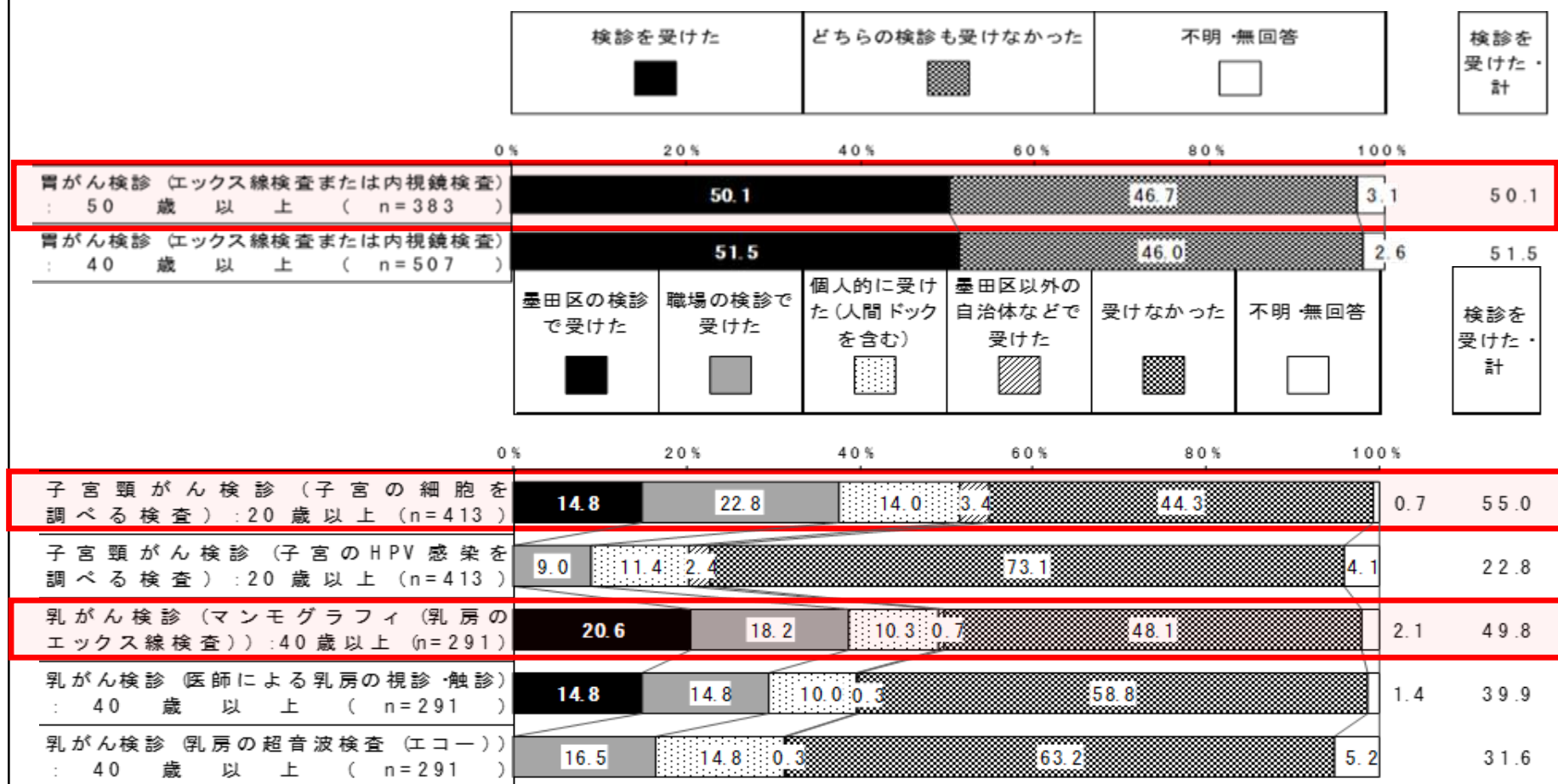
1年間のがん検診受診状況（胃がん検診・子宮頸がん検診・乳がん検診は2年間に1回）についてみると、
「大腸がん検診（便潜血検査（検便）」）の受診率は58.0%、「肺がん検診（胸のエックス線検査）」の受診率は62.1%となっており、目標受診率の50%を超えている。



がん検診受診率（意識調査）②

「胃がん検診（バリウムによる胃のエックス線検査）」、「胃がん検診（内視鏡検査（胃カメラ）」はそれぞれ単独の検診ではともに3割前後の受診率となっているが、**バリウムによる胃のエックス線検査、または内視鏡検査（胃カメラ）のどちらか一方でも受診した割合は50.1%となっており、目標受診率の50%をクリアしている。**

女性特有のがん検診受診状況は、「**子宮頸がん検診（子宮の細胞を調べる検査）**」の受診率は**55.0%**となっており、目標受診率の50%を超えている。なお、「**乳がん検診（マンモグラフィ（乳房のエックス線検査）**）」は**49.8%**となっており、目標受診率の50%をほぼ達成している。

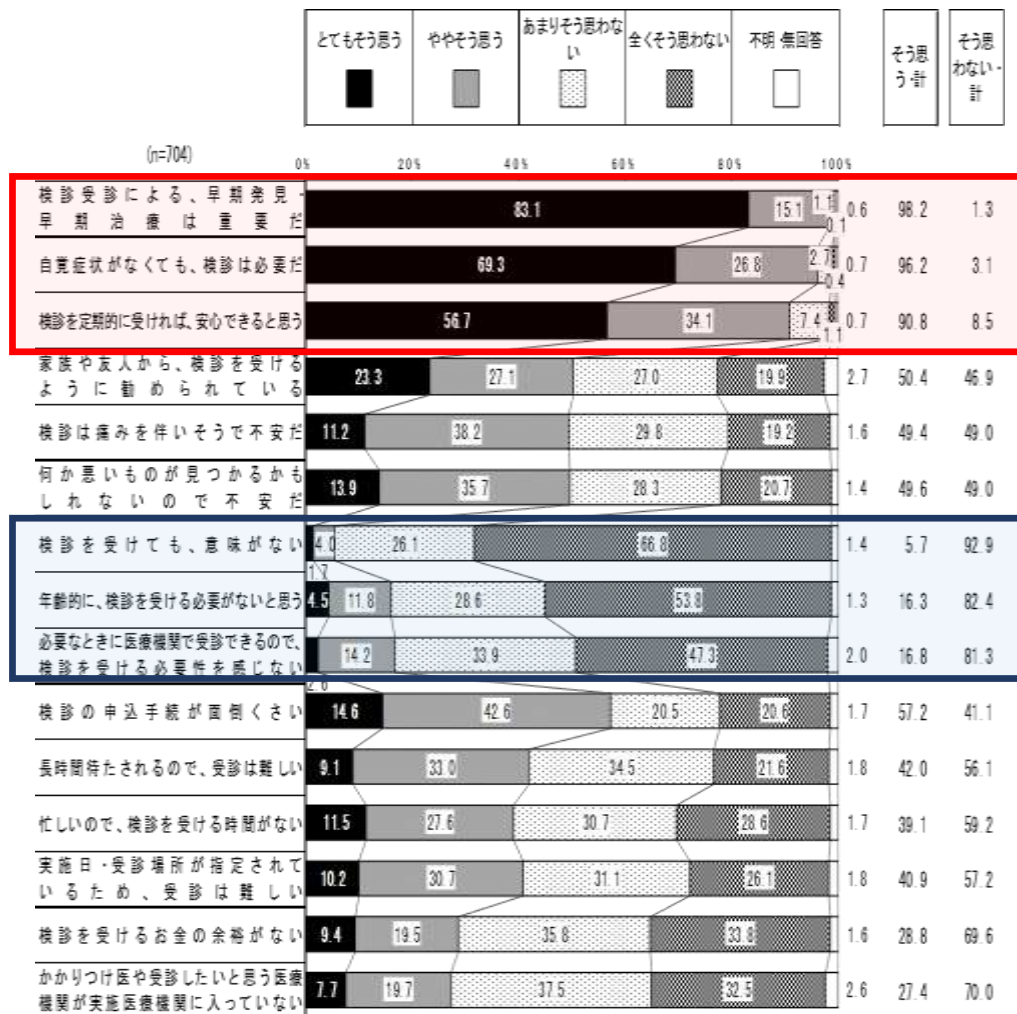


がんに対する考え

がん検診の受診に対するあなたの考えについて、それぞれの項目で当てはまる番号を1つ選んで○をつけてください。（○はそれぞれ1つずつ）

がん検診に対する考えについては、「**検診受診による、早期発見・早期治療は重要だ**」の項目で「**とてもそう思う**」の割合が**83.1%**と最も高く、次いで「**自覚症状がなくても、検診は必要だ**」で**69.3%**、「**検診を定期的に受ければ、安心できると思う**」で**56.7%**などとなっている。

一方、「**検診を受けても、意味がない**」の項目で「**全くそう思わない**」の割合が**66.8%**と最も高く、次いで「**年齢的に、検診を受ける必要がないと思う**」で**53.8%**、「**必要なときに医療機関で受診できるので、検診を受ける必要性を感じない**」で**47.3%**などと続いている。



区のがん対策で期待すること

墨田区が実施するがん対策の取組として、あなたはどのようなことを期待しますか。次の中から挙げてください。（○はいくつでも）

区のがん対策の取組で期待することは、
「人間ドックの受診費用の補助をしてほしい」が49.9%で最も高く、次いで
「1か所で複数種類のがん検診が受けられる会場を用意してほしい」と「土日・祝日にごん検診を受診できる場所を増やしてほしい」が同率で44.2%、
「がん検診を受診できる場所（医療機関や検診センターなど）を増やしてほしい」が38.2%、
「がん検診について個別に分かりやすく案内してほしい」が33.4%などと続いており、上位5位まではいずれも3割を超えている。

